

## 令和7年度 成田市立成田小学校 特別の教育課程（英語教育）の評価について

## 【英語アンケート結果について】

○アンケート実施期間 令和7年12月1日～令和8年1月30日

○アンケート対象者 全児童及び各学年抽出1学級保護者

児童生徒対象アンケートの結果	
1 あなたは、英語の学習は好きですか。 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計	91.7%
2 あなたは、英語の授業を楽しんでいますか。 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計	93.6%
3 あなたが、英語の時間で楽しいと思うのは、どういう時ですか。（複数回答）	
①英語の歌を歌うこと	55.2%
②英語を使って、友達やALTや担任の先生方と話をすること	36.4%
③英語のいろいろな言い方を勉強すること	31.5%
④英語を使ったいろいろなゲームをすること	76.5%
⑤いろいろな外国の様子を知ること	31.5%
⑥英語で友達や先生の話聞くこと	25.2%
⑦英語の絵本などを読んでもらうのを聞くこと	14.8%
⑧英語でカードなどをつくること	36.2%
⑨英語の文字や単語を読むこと	20.6%
⑩英語の文字や単語を書くこと	20.6%
4 あなたは、学校での英語の授業の内容がよくわかりますか。 「よくわかる」「だいたいよくわかる」の合計	83.2%
5 あなたは英語の授業を受けることによってどんなところがかわってきたと思いますか。（複数回答）	
①外国の人（ALTも含む）に話しかけられてもドキドキしないで話せるようになった。	41.9%
②外国の人に自分から進んで話しかけようと思うようになった。	33.5%
③自分の思いや気持ちを身振り手振りを使うなどして相手に伝えることができるようになった。	32.0%
④相手の話をよく聞くことができるようになった。	39.6%
⑤日本や外国の言葉に関心を持つようになった。	39.1%
⑥日本や外国の文化や生活に関心を持つようになった。	36.2%
6 あなたは、外国の人と話をしたいと思いますか。 「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計	74.8%
7 あなたは、外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計	82.9%
8 あなたは、日本や成田市のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計	89.8%
9 外国の人が話しかけてきたら、あなたはどのように思いますか。	
①英語で受け答えをする。	43.1%
②日本語で受け答えをする。	9.5%
③英語と日本語で受け答えをする。	41.4%
④だまっている。	1.7%
⑤その場から逃げる。	4.3%
10 英語を話したり、聞いたりできるようになりたいですか。 「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計	92.2%
11 あなたは、英語の授業で学習したことは、将来、役に立つと思いますか。 「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計	95.6%
12 あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。（5・6年生のみ） 「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」の合計	59.8%



保護者対象アンケートの結果	
1 成田市では、英語によるコミュニケーション活動の授業を全学年で実施しています。このことは将来の子どもたちにとって役に立つと思いますか？ 「とても役に立つと思う」「どちらかと言えば、役に立つと思う」の合計	86.7%
2 小学校で英語を学習することは子どもたちにとってどのような変容が見られると思いますか？（複数回答）	
①外国人に接したり、話したりすることが抵抗なくできる	63.8%
②英語に耳が慣れる	67.6%
③英語に興味をもち、親しむことができる	73.8%
④英語の発音が良くなる	23.8%
⑤中学校で英語の学習になじめる	33.3%
⑥英語で何か言おうとするなど、英語を使う姿が見られる	26.2%
⑦外国の国々の様子や、文化に興味をもつ	35.7%
⑧国際的な視野が広がる	33.8%
⑨自分の思いや気持ちを伝えられる	12.4%
⑩人の話をよく聞くことができる	8.6%
⑪相手の思いや気持ちを大切にできる	10.0%
3 小学校の英語教育に期待することはどんなことですか？	
①英語によるコミュニケーション能力を育成すること	74.8%
②異文化を理解し、国際理解教育を進めること	16.2%
③英語検定や受験に役立つ英語教育を進めること	7.6%
④その他	1.4%

その他の記述（主なもの）

- 英語をもっと普段から活用して、生活に取り入れて欲しい。
- 自身の英語学習体験や授業参観の様子から、現在の週1回程度の実施頻度や指導内容では、子どもたちが実用的な英語力を伸ばすにはまだ限界があると感じた。より本格的な指導の導入を検討してほしい。
- 学習進度の速さだけを追うのではなく、思考や言語の基礎となる国語や漢字の定着も、今のうちに徹底してほしい。
- 最終的には、英語で他の教科の授業も行えるような環境になるとよい。
- 現状の学習レベルについては、さらなる向上を期待している。
- 参道学習等、充実した英語学習を実施していただき感謝しております。
- 子どもが下校時に外国の方と自然に挨拶を交わしたと話してくれました。学校での学びがなければできなかった行動だと思うので、楽しくコミュニケーションを取る現在の授業スタイルをぜひ継続してほしい。
- 外国人（ALTなど）ともっと触れ合える機会があれば、（希望制などで）積極的に参加したい。
- 厳しさよりも、まずは英語を「楽しい」と思える時間を優先させてほしい。
- 早い時期から英語に触れることで興味が湧くため、非常に良いカリキュラムだと思う。交流機会を増やすことで、相手に伝えるための思考力が養われることを期待している。
- 成田という土地柄を活かし、幼少期から英語に触れる機会（ホームステイ支援等）へ、市としてより重点的な予算配分やサポートをお願いしたい。
- 子どもたちが英語に苦手意識を持たないよう、より生活に根ざした教育の充実を望む。
- ネイティブの英語学習ができる場が、より身近にあると嬉しい。
- 英語の授業コマ数をもっと増えてほしい。現状ではまだ足りないと感じている。
- 将来、英語を自由に話せるようになってほしいので、より積極的に取り組んでほしい。
- 英語は世界共通の言語。早い時期から学ぶことで、子どもたちの将来の選択肢や可能性が大きく広がると思う。
- 私自身も成田小出身で、当時の「呪文のように覚えたフレーズ」が今も自信に繋がっている。文法も大切だが、頭の柔らかい時期に「英会話ができる！」という自信を育める教育を大切にしてほしい。
- 日本の英語教育の現状を踏まえ、授業数をもっと増やすべきだと思う。
- 指導時間のさらなる拡充が必要だと考えている。

- 子どもが「英語の時間がとても楽しい」と話している。
- 実地での対話時間をさらに増やすと良い。外国の方との交流や、ゲーム・歌を取り入れた楽しい学びを継続してほしい。
- 小学校（会話中心）と中学校（文法中心）のギャップを埋めるため、小学校高学年から少しずつ文法の基礎にも力を入れてほしい。
- 現在の学習内容に加え、中学校の授業にスムーズに移行できるようなサポートを期待している。
- 英語を身近に感じられるよう、日常生活の中にどんどん取り入れてほしい。
- 英語の時間をさらに増やしてほしい。
- 早期から英語に触れることで抵抗感がなくなり、自然と興味を持つようになる。これが今後の学力アップにもつながると思う。
- 「体験」の段階から一歩進み、実際に「話せる」ようになるための具体的なスキルアップにも力を入れてほしい。
- 成田市内にインターナショナルスクールを設立してほしい。
- 参道での実践授業は非常に有意義。高学年だけでなく、中学年からもこうした活動があると、より楽しめるのではないかな。